

ふき指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
5年

6月26日(木)5時間目

国語 「インターネットは冒険だ(6/7)」

本時のねらい

◎把握した要旨を通して、題名との繋がりを理解することができる。(思考力・判断力・表現力)

本時のこだわり

○第2時で予想した題名の意味。ここまでの学習を振り返って、改めて筆者が題名に込めた思いを考える授業にします！

段 階	学習活動	指導・支援(○) 評価(☆)
	1. 誤った題名を提示し、改めて題名に着目させる。 【仕掛け】 筆者はなぜ題名を「冒険」にしたのか考えよう。	○「冒険」を「危険」に置き換えることで、児童の題名の意味を「考えたい」につなげる。
          展開	展開1 2. 小学生とインターネットの関係性を知る。 3. 要旨を基に、文章の大体の内容と筆者の考えを確認する。 展開2 4. なぜ筆者は題名を「冒険」にしたのかについて、ノートに考えを整理し、まとめる。 5. 全体で考えを共有する。	○子ども家庭庁の資料を基に、小学生とインターネットの関わりを押さえる。 ○前時まででまとめた要旨を生かし、この教材で筆者が何について述べ、どんな主張をしていたかを押さえる。 ○文型を提示し、全員が書きやすい環境を整える。 ○個人、ペア・トリオを選択させて取り組ませることで、学習の個別化を図り、児童の「考えたい」を高める。 ○自分の考えだけでなく、そう考えた理由も併せて発表できるよう言葉掛けする。 ○筆者は特徴と危険性を理解して、インターネットを使いこなしてほしいという建設的な主張をしている。危険や便利という考えだけに偏らないよう、揺さぶり発問や机間指導で見取った児童を意図的に指名する ☆要旨と題名のつながりを理解している。 (観察・発言・記述)
	7. 振り返り	○筆者はどのような思いを込めて「インターネットは冒険だ」という題名をつけたのかという視点に沿って振り返りを書くよう伝える。

